



3つの
ポイント

1. 持続可能なまちづくりへの新たな投資 2. 財政規律による町政運営 3. 時代に応じた重要施策の推進

◎ = 新規事業 ○ = 拡充事業 ● = 継続事業

ポイント1 持続可能なまちづくりへの新たな投資

まちづくり

- **新しい地域経営戦略事業** (296,640千円)
持続可能なまちづくりを強力に推進するため、3つの施策を加速して実施

生活基盤・防災

- **役場前線南進新設区間整備事業** (14,000千円)
歩行者の安全確保及び利便性並びに防災機能の向上を目的に、新設街路を整備
- ◎ **洪水ハザードマップ事業** (9,042千円)
激甚化する災害から町民の生命を守るため、洪水ハザードマップを更新
- ◎ **公共ライドシェア事業** (27,718千円)
公共交通における交通空白の解消及び利便性向上を図るため、実証運行を実施

福祉・子育て

- **健康革命推進事業** (25,115千円)
健康ビジョン加速化事業※を拡大、健康寿命延伸の新たな取り組みを実施
- ◎ **こども誰でも通園制度** (乳児等通園支援事業) (2,750千円)
多様なライフスタイルに応じた保育環境に対応するための通園給付を支給

環境・教育

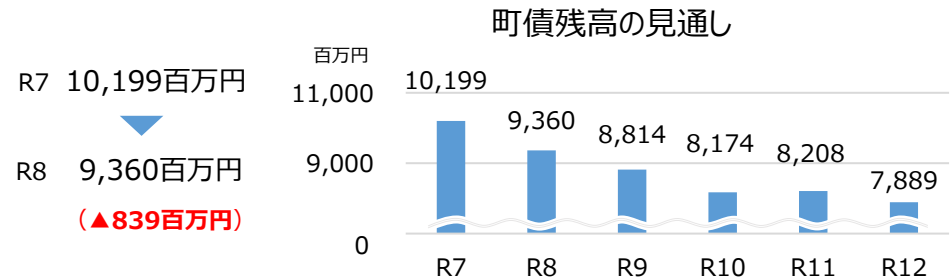
- **ツキノワグマ緊急対策事業** (1,343千円)
ツキノワグマへの迅速な対応及び被害の未然防止のため、必要な体制を整備
- ◎ **小中学校屋内運動場冷暖房設備整備事業** (4,510千円)
熱中症対策及び防災機能の強化を図るため、冷暖房設備の設計を実施
- ◎ (仮称) **町立新中学校開校準備委員会運営事業** (332千円)
新中学校開校に向けて必要事項を検討するため、準備委員会を設置

ポイント2 財政規律による町政運営

● 債務・債券管理 (▲78,828千円)

前年度に引き続き町債残高の計画的な削減により、公債費を縮減※繰上償還除く

➡ 計画的な基金運用により、更なる財産収入を獲得 (+7,515千円)



● シーリングによる一般財源負担の軽減 (▲117,035千円)

3か年連続で一般行政経費のシーリングを実施、メリハリを付けた歳出抑制

ポイント3 時代に応じた重要施策の推進

◎ 犯罪被害者支援事業 (400千円)

犯罪被害者やその遺族に対し経済的負担を軽減するため、見舞金を支給

◎ 脱炭素化社会推進事業 (33,544千円)

カーボンニュートラル社会実現のため、公共施設等照明のLED化を推進

◎ 公営住宅外壁改修事業 (84,777千円)

住環境の改善及び将来の長期的コストを抑制するため、外壁の改修工事を実施

◎ 学校給食費等補助金支給事業 (124千円)

アレルギーを持つ児童生徒の家計の経済的負担を軽減するため、補助金を支給

※ 健康ビジョン加速化事業…健康寿命の延伸を目的に、令和6年度より4課合同で実施する6事業の総称

社会情勢が激しく変化する今、従来の枠組みにとらわれない自立的な自治体経営へと転換し、3つの施策を加速して実施することにより、町の財政を支える力強い経済基盤の構築、**新しい地域経営の確立**を目指す。

施策1

町ならではの価値を高める

- **みたまの湯PFI導入可能性事業** (15,400千円)
- **市川公園MTBフィールド指定管理事業** (1,000千円)
- **ふるさと納税特産品贈呈事業** (143,847千円)
- **歌舞伎文化公園管理事業** (22,215千円)

資源・魅力



持続可能な自治体経営の実現

仕事・産業



施策2

稼ぐ力を生み、雇用を増やす

- ◎ **地域経済循環創造事業費補助金事業** (50,000千円)
- ◎ **創業支援補助金事業** (3,000千円)
- **六郷IC周辺整備事業** (16,000千円)
- **伝統産業支援事業** (802千円)

施策3

関わる人、担い手を増やす

- ◎ **地域活性化起業人事業** (11,800千円)
- **地域おこし協力隊事業** (17,076千円)
- **若者定住促進住宅補助金事業** (15,500千円)
- ◎ **未来をつくるワークショップ事業** (0千円)



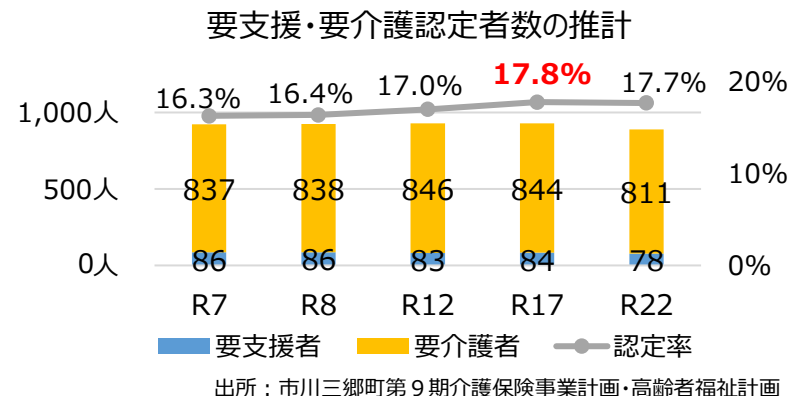
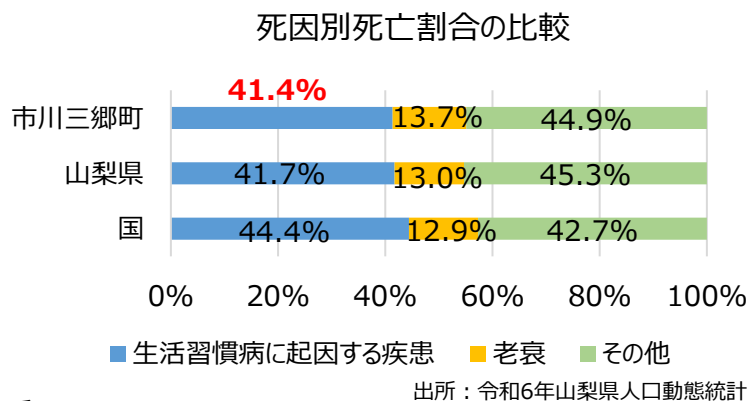
本町の高齢化率は令和7年4月1日現在において39.6%と県平均より7.7ポイント高く、令和17年度には44.6%となる見込み。

このような状況下でも、誰もが地域で長く健康で安心した生活を送れるよう子どもからお年寄りまで健康クラスターを形成し、**健康長寿のまち、日本一**を目指す。

1. 数値でみる本町の現況

死亡要因の約4割は三大生活習慣病(悪性新生物・心疾患・脳血管疾患)に起因するもの。

また、令和17年度に本町の要支援・要介護者認定率は17.8%まで上昇する見込み。



2. 健康革命推進事業の体系

健康ビジョン加速化事業 (R6年度より実施)

- **人間ドック助成事業 (3,066千円)**
生活習慣病等の早期発見及び重症化予防のため、人間ドック費用の一部を助成
- **健康診査受診者インセンティブ事業 (0千円)**
生活習慣病等の発症予防のため、健康診査受診率アップの取り組みを実施
- **がん患者アピランスケア用品購入費助成事業 (364千円)**
がん患者の心理的・経済的負担を軽減するため、ケア用品購入費の一部を助成
- **フレイル・介護予防推進事業 (189千円)**
要介護者となるリスクを防ぐため、フレイル・介護予防の健康教室や周知等を実施
- **軽・中等度難聴者補聴器購入費助成事業 (300千円)**
高齢者の経済的負担の軽減及び社会参加の促進を図るため、補聴器購入費の一部を助成
- **緊急通報体制整備事業 (2,636千円)**
高齢者が地域で安心して生活できる環境を確保するため、相談体制を整備

新たな取り組み (R8年度より実施)

- ◎ **いきいき健康ウォーク事業 (9,503千円)**
生活習慣病を予防するため、ウォーキングによる運動習慣の定着を推進
- ◎ **後期高齢者歯科健康診査事業 (735千円)**
後期高齢者を含めた全世代のオーラルフレイル予防を実施

【民間組織と連携した支援体制を強化】

- **生活支援体制整備事業 (8,322千円)**
地域支え合い協議体と連携した住みやすい地域づくりを推進

全世代を巻き込んだ**健康革命**を推進し、健康寿命の**更なる延伸**を図る